



たどころ しょうた  
**田所 翔太さん**

● 赤見小6年  
**プロゴルファー  
を目指して**

ぼくの将来の夢は、プロゴルファーになることです。そのために、今は練習場に行って、いとこのお父さんにスイングを教えてもらっています。

テレビでプロの試合を見ていると、よくあんなに遠くまでボールを飛ばせるなどと思い、ぼくももっとがんばろうという気持ちになります。

ぼくがプロゴルファーになったら、正確にショットを打ったり、一回でパットを決めたりできるような選手になりたいです。

**みんなの広場に  
出てみませんか？**

「すてきな仲間たち」「めおと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。  
※「すてきな仲間たち」「めおと人生」は隔月で掲載します

■問合せ 政策調整課広報広聴係  
☎(20)3037

**すてきな仲間たち**

**佐野市野球協会**



- 活動時間 年間随時
- 活動場所 市内各球場
- 連絡先 審判部長・須田  
☎(62)9109

**野球の審判をやってみませんか？**

市の野球協会には社会人110チーム、学童野球23チームが登録し、年間を通し、市内の各会場で15大会570試合が行われます。

この全試合を審判員40人で支えています。私たち審判員は「一球入魂」にあこがれて球場入りする選手ひとりひとりに最高の醍醐味を味わっていただけるよう、常にスピードあるジャッジを心がけて審判しています。そして、瞬時のセーフ・アウトといったアクションにスリルと誇りを感じています。

現在、野球協会では、こうした審判員の仲間を求めています。野球に志のある方、審判に興味のある方はぜひお問い合わせください。



**今回の表紙「佐野市成人式(葛生会場)」(葛生あくとプラザ)**

文化会館、田沼中央公民館、葛生あくとプラザで成人式が行われ、色とりどりの振り袖やスーツで着飾った新成人たちが、友人たちとの再会を喜びながら思いを新たにしました。

## 廣瀬 正道さん (葛生西)

### ○プロフィール

1947年、青森県十和田市生まれの65歳  
地元高校を卒業後、上京し、デザイン会社に就職。  
27歳で結婚すると同時に、葛生に移り住み、現在に至る。



### むらおひつへの想い

昨年8月25日、26日に葛生の嘉多山公園にて「くずう原人まつり」が盛大に開催されました。原人まつりは昨年で25回を迎え、25年という長きにわたって行われてきました。

このまつりは昭和59〜62年の3年間に渡る活動などをもって、当時の葛生町商工会(現・佐野市あそ商工会)観光開発専門委員長の廣瀬正道さんの時代に生まれました。

廣瀬さんは「原人まつりは、民間主導型でボランティアの方々が頑張るまつりです。おひとりおひとりの熱い心が集まることで、郷土愛と人が結びついた、長く続くまつりになりました」と話します。

また一緒にまつりを盛り上げてきた実行委員会のスタッフは「原人のもととされていた化石は考古学的に否定されましたが、作家・半村良さんのメッセージ『古代の渣』に応援されて

始めたこのまつりが、地域づくり・まちづくりの一翼を担えれば、という気持ちで続けています」と話します。

昨年の原人まつりは「みんなに来てね!くずうから東北へ 夢と元気を」をテーマに、化石発掘体験や原人村、親子ワイワイコーナーや都内の専門学校との協力によるふれあい動物園、そのほかダンスや歌などのパフォー



▲廣瀬さんが考案した「ゲンさん」

マンスや勇壮な太鼓の演奏などが行われたほか、火おこしなどのタイムを競う「原人にチャレンジタイムトライアル」が行われました。廣瀬さんが考え出したキャラクター「ゲンさん」のもと、多くの人がイベントを楽しみました。

現在、廣瀬さんが会長を務め、この原人まつりの中核を担うむらおひつ実行委員会では、むらおこしについて、ひざを交えて話し合う会合「団談・暖」を随時開催しており、この2月にも開催します。興味のある方は佐野市あそ商工会内の実行委員会までお問い合わせください。

廣瀬さんは「原人は否定されてしまいましたが、葛生地区は多くの化石が発掘される貴重

なところですよ。今後とも古代のまち・くずうのむらおこしに携わっていきます」と話しています。廣瀬



くずう化石館の化石

さんの今後の活躍をご期待いたします。(市民記者 佐藤)

## 市長からの メッセージ



暦の上では間もなく立春を迎えますが、寒い日が続いております。また空気が乾燥し、インフルエンザも流行しております。市民の皆さん、こまめに手洗い、うがいをするなど予防をし、体調に十分注意してください。

今年も元旦から観光物産会館の初売り式に臨みました。その後、市内の神社仏閣で市民の安全・安心と佐野市のさらなる飛躍を願ってまいりました。

さて、市主催の新年祝賀会が1月7日に開催され、市内各界代表者など約1000人の皆様と新しい年の門出をお祝いしました。今年は、新年祝賀会と一緒に佐野市表彰式を行い、市政振興に対し多大な寄附をいただいた1団体6名の方に徳行章の表彰を行いました。また、ドライバーのご厚意により佐野市歌を会場の皆さんと一緒に歌い、祝賀会に華を添えてもらいました。

12日には本市出身のプロ野球選手、石井琢朗さんの現役引退記念のトークショーが文化会館で行われました。会場には熱烈的な広島ファンも含め、多くの人たちが来場し、現役時代のエピソードやダイヤモンドユカイさんとのトークを楽しみました。今年から広島東洋カープの指導者として、石井コーチには優勝を目指して頑張ってもらいたいと思います。

また、13日には成人式が市内3カ所で開催され、本市では約1200人が成人を迎えました。わたしから今年の新成人の皆さんには「感謝」という言葉を贈りました。今まで支え育ててくれた周囲の人への「感謝」の気持ちを忘れずに、今後待ちうける困難を成長の糧として「感謝」の心で受け止められるよう、謙虚な気持ちを忘れず成長していつてもらいたいと思います。新成人のこれからの活躍を大いに期待しております。

岡部正英